

CONTENTS

- 大学院・各学部卒業研究紹介(4面)
- 15年度入試~大学・短大前年比アップ(6面)
- 松田教授ら合同調査隊、チンギス・ハン兵站基地発見!(8面)

GLOBAL MIND

グローバルマインド

発行/学)大阪国際学園広報室
〒570-8555守口市藤田町6-2-1-57
☎06(6902)0787(代) FAX06(6902)8961
Eメール:koho@oiu.ac.jp
http://www.globalmind.jp/

GLOBAL MIND IS THE SPIRIT OF OSAKA INTERNATIONAL EDUCATIONAL INSTITUTION

大阪国際大学(OIU) 枚方キャンパス072(858)1616(代) 守口キャンパス06(6902)0791(代)	大阪国際滝井高等学校(OITH) 06(6996)5691(代)
大阪国際女子大学(OIUW) 06(6902)0791(代)	大阪国際大和田高等学校(OIOH)・中学校(OIOJ) 06(6904)1118(代)
大阪国際大学短期大学部(OIC) 06(6902)0791(代)	大阪国際大和田幼稚園(OIOK) 06(6902)7329(代)

◆ 独白 ◆

大阪国際学園 理事長 奥田吾朗

「情報社会の信頼性」

イラクをめぐる戦争も、アメリカによってひとまず終結宣言が出され、戦後復興に焦点が移りつつある。一方、アジアでは、新型肺炎(SARS)が猛威をふるっている。日進月歩でグローバル化が進んでいる現代社会では、たとえ外国や他の地域における出来事であっても、我々の日常生活に及ぼす影響が、直接かつ即座に、何がしかの影響を及ぼす時代となった。

このようなときには、これまで以上に「情報」の役割が一層重要なものとなる。高度情報社会の現在では、テレビ、新聞、雑誌のみならず、インターネットや衛星放送等の多種多様なメディアを通じて、大量の「情報」をスピーディーかつ容易に入手することができるようになった。先のイラクでの戦争に例を採ると、我々は自宅に居ながらにして、CNNなどのニュース番組のなかでアメリカ軍の戦闘シーンを目の当たりにすることができた。

ところで、文章や写真だけでなく、たとえライブと称される映像であったとしても、そこには情報を発信するサイドの何らかの意図が存在していることも忘れてはならない。人類は、今後さらに技術を発達させ、「情報」の氾濫する社会をつくりあげることになる。そこでは、アカウンタリビリティの重要性が叫ばれると同時に、「情報」の真実性あるいは情報社会そのものの信頼性について、再度考へるべき点は多いように思われてならない。

大学改革実行の年

IT、起業・事業創造、中国語、法律特別4集中特訓コース加わる 自己開発のエンカレッジ・キャリア教育特別講座も

新生・国際大の情熱を表出

平成14年度が大学改革始動の年ならば、15年度は「中身を盛り込む改革実行の年」と金子教部国際大学長が年頭に語ったように、新年度、国際大では新たな試みが続々スタートしている。14年度から実施している「ジョーシタウ」大学英語インテンシブコース、「ジャーナリスト」特別講座(日本語表現応用演習)に加え、経営情報学部で「ITインテンシブコース」「起業・事業創造コース」、法政経学部で「法律特別コース」、全学部共通の「中国語インテンシブコース」が設けられ、計6つの集中特訓コースを整備。また、エンカレッジ・キャリア教育特別講座もスタートした。いずれも、資格取得講座や就職講座とは一線を画した低年次からの徹底した教育プログラムで、学生が卒業後の進路も視野に入れ、目的意識を持って大学生活を送れるように、新生・国際大の教育に対する情熱を形にしたもの。新生を迎え、いよいよ本格的な大学改革の実行となる。



いよいよスタートした「ITインテンシブコース」の様子。写真は「情報学」の授業風景

「ITインテンシブコース」は、実務的ITと経営情報学部の最先端の研究を融合、選抜された23名が密度の高い授業を受けている。毎日英語漬けの「ジョーシタウ」大学英語インテンシブコースとは違い、基礎教養や学部教育も受講しながら毎日講義と実習の合計2コマ、IT関連授業を受ける。1年次の前期で通常2年間かけて学ぶコンピュータ関係の授業をみっちり受け、基礎的なIT技術をマスター。そして1年次後期から応用に入る。3年次生からは経営工学、人工知能論、ビジネスシミュレーションなどの専門科目を学部の経営関連科目とともに学ぶことができ、インターネットビジネスなど新たなビジネスモデルの構築を目指すシステム統括して学ぶことのできるプログラムになっている。資格取得を目的としたコースではないが、成果の確認として基本情報技術者試験やシステムアドミニストレータ試験などの受験を奨励。これらの資格はもちろん、パスコン検定、CG検定などの受験についてもサポート体制を整えている。情報系大学生は卒業後、IT技術において専門性が高くなること、もろもろが、集中的にIT技術を身に付け、しかも経営情報の専門科目に発展させることで、実社会でコンピュータ利用技術を切り札として使うことを目指している。

「起業・事業創造インテンシブコース」は、将来起業する、あるいは企業内部で自ら事業を構想しその実現に向けて強い意志とリーダーシップを発揮して行動できる人材を育成し、

その基礎的能力の向上を図ることを目標としている。起業家養成講座は他の大学でも開設が相次いでいるが、1年次に「お金の流れ」と「ビジネスの進め方」を身につけるなど、低年次からビジネスに不可欠な基礎を集中的に学べるのが本学の大きな特徴となっている。また、2年次に知識だけでなく、海外事情研修を核とし、先端企業や経営者、ビジネスマンに触れる機会を設け、「自分もあんな風になりたい」という具体的な動機付けを行う仕組みを提供する。そして3年次生では「起業分野」「会計分野」「サービス・流通分野」の3つのコースを志望し、それぞれ独自のビジネス経験のある教員も含めての指導により専門知識を身につけながら関連企業との交流を深め、4年次の就職活動に繋げていく。

例えば主要科目である「ITマーケティング」ではITによって企業経営がどのように変わるのか、を



学生も活発に意見を述べる起業・事業創造インテンシブコースの「ビジネスの進め方」

「中国語インテンシブコース」は、中国語圏に対応できる国際派ビジネスマンの養成を目指したもので、語学系以外の大学では全国で初めての本格的なコースとなる。近年の中国の経済・文化面の目ざましい発展に伴い、日本への留学生数も増加し日中関係が一層緊密化する中、中国語や中国経済・文化、社会等に関する教育の重要性は大きい。15年秋からの開講で、4月からは「準備コース」を実施。週2コマの中国語の授業を枚方キャンパス11名、守口キャンパス15名が受講している。秋からの内容は、1、2年次で午前中に集中して1コマ50分の中国語授業を週12コマ受け、ピアリングと会話に重点を置いた総合的なコミュニケーション能力を身につける。講師は協定校である中国の瀋陽東北大学から派遣される。そして2年次後期から1年間、履修者のうち特に成績優秀な希望者は中国語圏の協定校の交換留学が可能となる。瀋陽東北大学、四川大学(中国)や台湾の中国文化大学、香港中文大学などが候補地だ。これらで交換留学の体験が転機となり活躍している卒業生が少なくないが、同コースでの留学も自分を見つめ、力を伸ばす大きなチャンスとなるに違いない。留学を終えるとネイティブスピーカーによる経済・政治・比較文化、経営などさらに高度な専門教育を行い、中

「エンカレッジ・キャリア教育特別講座」は、大学低年次から将来の生き方を見据えた自己開発を行うこと、21世紀を生き抜く力を持つ市民を育てることを目的として「何を学ぼうか」として「将来何を学ぼうか」という「生きる目的」意識を育てる教育プログラム(エンカレッジ教育)を大学の1、2年次に取り入れることにより、その後の大学生活をより有意義に目的意識を持って過ごすと共に、従来3年次生から主に行ってきた就職教育キャリア教育と連続性を持たせ、社会に貢献できる市民を育てるという大学の使命を果たす。各学部の教員と14年度開設のエンカレッジセンター、及び進路・就職部が協力し、単なる「就職講座」ではない、本学のキャリアアコンセプトを踏まえたプロの講師陣を揃え、1、2年次生を対象に前期後半期各2コマを各学部の基礎・予備演習・セミナーに組み込む形で講座をスタートさせた。4月に行われた講座では、1年次生には、受身から決別し、自ら学ぶことの楽しさを理解するためのきっかけとなる内容、2年次生に対しては、1年次の振り返りや今後の大学生活を充実させて就職活動に繋げるための考え方を身につける内容で特別講座を実施した。

なお、エンカレッジセンターでは、両キャンパスでエンカレッジ講座を実施してきたが、受講生は意欲的に学び、コミュニケーション能力を高め、力を十分に発揮する就職活動でも力を発揮し、学生は大きな自信を得ている。また、2月には併設高校に対する「入学準備エンカレッジセミナー」を開催し、大学合格後の高校生活を「一層充実させ、大学生活の円滑な滑り出しをサポート。高大直連連携の一翼も担っている。



奥田吾朗 校長

滝井高校長に奥田吾朗理事長

滝井高校の福井昭典前校長が3月31日付で辞任、今年3月20日の理事会において、新任の校長として奥田吾朗理事長、短大校長が選任された。任期は15年4月1日から2年間。

「法政経学部では「法律特別コース」が開設された。公務員、司法書士、行政書士や大学院進学などの目標をかかげる熱意ある学生を選抜し、少人数教育を実施する。特に公務員対策は学生からの需要も多く、法学、政治学、経済学を基盤とした豊富な授業を用意できる同学部ならではの特別コース。1年次後期から4年次まで貫いたプログラムで、1年次は「動機付け」に中心を置き、2年次は教養基礎・専門基礎を確立することを旨とする。その上で、3年次は専門基礎と専門応用、そして4年次は直面対策、という構成で新たな科目が組み込まれている。従来から目標を同じくする学生の学習サポートが主目的に世話人となってきたが、正規のコースとするなど、教員のサポートや環境整備をさらに充実させ、やる気のある学生の潜在能力を伸ばすことを狙う。既に2年次生についてはこの4月から選考を経た学生が授業を受けており、「人の役に立ってやりがいのある仕事である公務員になりたい」「初心に戻って何のために大学に来たのかを考えた時、もっと勉強せねばと思った」と意欲を見せている。1年次生に対しては、7月初めに募集を開始する予定である。

「エンカレッジ・キャリア教育特別講座」は、大学低年次から将来の生き方を見据えた自己開発を行うこと、21世紀を生き抜く力を持つ市民を育てることを目的として「何を学ぼうか」として「将来何を学ぼうか」という「生きる目的」意識を育てる教育プログラム(エンカレッジ教育)を大学の1、2年次に取り入れることにより、その後の大学生活をより有意義に目的意識を持って過ごすと共に、従来3年次生から主に行ってきた就職教育キャリア教育と連続性を持たせ、社会に貢献できる市民を育てるという大学の使命を果たす。各学部の教員と14年度開設のエンカレッジセンター、及び進路・就職部が協力し、単なる「就職講座」ではない、本学のキャリアアコンセプトを踏まえたプロの講師陣を揃え、1、2年次生を対象に前期後半期各2コマを各学部の基礎・予備演習・セミナーに組み込む形で講座をスタートさせた。4月に行われた講座では、1年次生には、受身から決別し、自ら学ぶことの楽しさを理解するためのきっかけとなる内容、2年次生に対しては、1年次の振り返りや今後の大学生活を充実させて就職活動に繋げるための考え方を身につける内容で特別講座を実施した。

なお、エンカレッジセンターでは、両キャンパスでエンカレッジ講座を実施してきたが、受講生は意欲的に学び、コミュニケーション能力を高め、力を十分に発揮する就職活動でも力を発揮し、学生は大きな自信を得ている。また、2月には併設高校に対する「入学準備エンカレッジセミナー」を開催し、大学合格後の高校生活を「一層充実させ、大学生活の円滑な滑り出しをサポート。高大直連連携の一翼も担っている。

第15回グローバルマインド賞 優秀論文審査結果

テーマ
「世界の中の日本と私」

グランプリ賞
「小さな国際化」
静岡県 県立浜松北高校3年
坪井 咲

準グランプリ賞
「異文化理解とは何か」
大阪府 府立生野高校3年
佐藤 実優

毎日新聞社賞
「本当の国際交流とは」
北海道 道立北海道室蘭清水丘高校3年
山田 育美

佳作(受付番号順)
「英語とどのように接するべきか」
英語帝国主義を通して考える」
東京都 国立お茶の水女子大学附属高校2年
谷 瑞希

「真のグローバル化とは～
精神的開国を求めて」
東京都 学習院女子高等科1年
飯名 由梨

「日本人としてのこれからの私」
東京都 中村高校2年
細谷 由美

「真の国際人とは」
静岡県 県立浜松北高校3年
成原 里美

「ビー玉が灯した「真心」の火」
兵庫県 小林聖心女子学院高校2年
大野 真理子

「微笑み合う国を目指して」
兵庫県 小林聖心女子学院高校3年
吉川 茜

「スマイル」
香川県 県立三木高校1年
坂本 智代

学校賞
兵庫県 小林聖心女子学院高校

平成14年度の高校生論文コンクール「グローバルマインド賞」には、全国114校から1348編の作品が集まり前回より倍増の応募となった。団体賞であ

る学校賞には佳作2編を出した兵庫県的小林聖心女子学院高校が受賞した。今回より新サブテーマ「環境について」を加えたが、傾向と

しては、入賞作品に見られるように、単なる留学見聞録から脱皮して体験や知識を自分の視点で受け止め理解している作品が目立った。入賞者は別表の通り。

静岡県立浜松北高校3年「小さな国際化」 グランプリ賞は坪井咲さん

第15回「グローバルマインド賞」決まる

また、同窓会である「なでしこの会」山崎子会長が「みなさんが母校や同窓会を身近に感じるのは何年も先だが、その時には同窓会に来て、一番輝いていた時にタイムスリップして楽しい時を過ごしてほしい」と呼びかけた。

また、同窓会である「なでしこの会」山崎子会長が「みなさんが母校や同窓会を身近に感じるのは何年も先だが、その時には同窓会に来て、一番輝いていた時にタイムスリップして楽しい時を過ごしてほしい」と呼びかけた。

希望、胸に1959人集立つ

晴れの卒業式



「夢が咲く木」を歌って幕を閉じた短大卒業式

別れの季節を迎えた学園各々は2月から3月にかけて卒業式を行った。卒業生は大学から幼稚園まで計1959名。実社会や上級学校へ希望に胸をふくらませながら巣立っていった。

部285名、政経学部199名、計501名。守口キャンパスが女子人間科学部405名(社会コミュニケーション学科112名、国際コミュニケーション学科123名、人間健康科学科80名、スポーツ行動学科90名)。短大が家政科160名(生活文化コース118名、栄養士コース42名)、幼児教育科178名(保育コース133名、音楽コース22名、体育コース23名)、国際文化学科199名(国際ビジネスコース25名、情報ビジネスコース85名、英語コミュニケーションコース29名、観光ビジネスコース60名)の計537名。

をもち、自分をさらに高め、社会に貢献する人に育って欲しい」と卒業生たちを激励した。続いて卒業生を代表して経営情報学部は陳 皎さんが、政経学部は辻 祥江さんが、大学生活を共にした友人に、この大学に感謝します」と心のこもった答辞を涙を浮かべつつ述べた。

このあと両学部卒業生から卒業記念品としてテント5はりや贈られ、学歌「新鮮な旅人」を斉唱して閉式した。式直前まで雨模様で天候も門出を祝うかのように上がり、大講義室前では花束を抱えた後輩達が出迎えた。また、18時からは大阪ヒルトンホテルで学友会主催卒業記念パーティーが行われ、学生・教職員一同で盛り上がった。

びかけ、35周年事業の準備を進めていることも紹介した。短大の卒業証書授与式は3月14日に奥田メモリアルホールで行われた。奥田吾朗学長は式辞で「人との出会いの中で多くのエピソードを経験することは、人間の成長にとって単なる知識やスキルの習得よりも大切。多くを経験し、人々にエネルギーを分け与えて下さい」と語り、「卒業生のことば」として代表の幼児教育科 山崎裕理子さんが、「私たちはまだ小さな蕾ですが、卒業生として国際社会にはばたくことができるよう夢を持ち続けたい」と述べた。

同窓会である「羊帝会」廣谷康子会長が、社会人になった時に帝園女子短大の1期生として恥じぬよう付加価値をつける努力をした自らの思い出や、主婦としての生きざまを語り、主婦としてこの生きざまを語り、大阪国際大学短期大学部という新しい名前での1期生のみなさんも笑顔忘れず、困難を乗り越えてほしい」と激励した。

先生方が大好きです。皆と作った思い出を大切に選んだ道をしっかりと歩いていきたい」と述べた。寂しさを秘めて期待の拍手で送りだす先生や保護者、在校生に見守られて卒業した。大和田幼稚園でも、3月19日奥田メモリアルホールで保育修了証書授与式が行われた。この日証書授与に使われた演壇は保護者から幼稚園に対して卒園記念品として贈られたもので、金色のスクールマークが入られた園児対応の低い作りになったもの。園児たちは一人ずつ証書を受け取る広い舞台の真ん中で歩き、大きく開いた世界一のサッカー選手になりたいです。「お花やさんになりたいです」「パパのお嫁さんになりたいです」などとそれぞれの夢を堂々と発表。吉備千枝園長は式辞で「幼稚園で身につけたこと、一生懸命頑張ったことを思い出して、大輪の花を咲かせて下さい」と述べ、また大学の協力を得て平成13年度に英語教育とコンピュータ教育という新しい試みを始めたことに触れ、「心配もありましたが、今では美しい発音でABCの歌を歌い、マウスを自由自在に操っている姿を見ることができず」と成果も語った。また、今回の修了児は長年続いた紺色の制服の最後の園児でもある。最後に参列から教わって、時間とタイミングを何よりも大切にされたそう

直言

最近、孫のお守で半世紀前に習った懐かしい小学唱歌に悪声を張り上げている。3歳児の質問責めで気付いたのだが、50年前には日常生活の中で見聞き出来た物がたくさん姿を消している。「森の水車」「村の船祭り」「村の鍛冶屋」……。頭さん「村の鍛冶屋」……。そう言えば、一代で世界のホンダを育てた本田宗一郎さんの父君も刀鍛冶だったそう。鉄は熱いうちにすかさず打たないと、少しくも狂えば大槌がぶつかり



「チンペン」カン、カン、カン

指示する。そこをすかさず三人の弟子がトン、テン、カンと打つ。コチン、トン、テン、カンを一系列繰り返す。それこそ絶妙熟練のタイミングである。少しくも狂えば大槌がぶつかり



親子や友達同士で思い思いの形を作る園児たち

合い、違った点を打てば鉄は間違った延び方をします。三人が素早く一定の力で一点を打つ。これが集中力であり、何百年の後までも素晴らしい姿と切れ味を残す日本刀を生み出す母なのである。

当学園で勉学に励む皆さんは、まさにまっ赤に熱せられた鉄に例えられるタイミングである。

バンコク大学(タイ)



本学と着実に学生交流の実績を残すバンコク大学

ボランティアワークキャンプを実施 本学学生も村落で共同生活

の提携校となった。提携してか
らまだ日が浅いが、学生交流に
関しては、短期間に着実に
実績を残している。
バンコク大学からは、13年、
15年に各1名が留学生別科(13
年は大阪国際女子大学外国人特
別科目等履修生)に半期間在籍
している。留学生は日本滞在中
大学近辺にホームステイをし、
大学の講義とは違った角度から
日本文化などの理解を深める機
会も与えられている。
一方、本学からは、昨年度は
じめてバンコク大学が実施して
いる「ボランティアワークキャ
ンプ」に学生6名が同行参加。

最古の歴史と最大規模

レヅジ(英語による講義)に4
学部あり、社会学、自然科学、
人文学、および工学に特化した
プログラムを提供している。
本学がバンコク大学との学生
交流協定を締結したのは平成12
年のことであり(当時は大阪国
際女子大学)、日本では道都大学
関西外国語大学に続いて3番目
の提携校となった。

第4回「大学関西フォーラム」開催 金子学長、パネリストで参加

3月7日、読売新聞大阪本社
主催の「大学関西フォーラム」
第4回懇話会が開催され、国際
大金子敦郎学長がパネリストと
して、大学改革について教室内
容や運営の方針、今後の課題な
どについて語った。フォーラム
はクラブ関西(大阪市北区)で
行われ、近畿などの国公私立大
学の学長や理事長ら約120名
が参加。

課外活動奨励者表彰

【守口キャンパス】

ソフトボール部(14年度関西学
生ソフトボール秋季1部リーグ
優勝)▽女子水泳部(第38回関

ミニユニオンがとれるよう
になった。
また、ミーティングではタイ
人学生が積極的な刺激を受
けた」と感想を述べており、有
意義な研修だったことがうかが
える。今年3月に予定していた
同キャンパスは、残念ながら英米
によるイラク攻撃のため出発を
取り止めるをえなかつたが、
大学をあげてボランティア活動
を推進していることもあり、今
後世界情勢が安定すれば、16年
3月に実施予定である。

なお、同協定により、本学学
生が英語で講義の行われるイン
ターナショナルカレッジ(半期
間、または1年間交換留学でき
る制度もあり、英語力に自信の
ある学生にはぜひこの制度を活
用してもらいたいものである
(インターナショナルカレッジ
の学部は、会計学部、経営学部
コミュニケーション学部、人文
学部)。
(大阪国際大学・大阪国際女子
大学・大阪国際大学短期大学部
国際交流課課長代理 小山さゆり)

ストリベロ賞)▽赤穂理恵(ス
ボ行3)▽小坂恵里(スボ行3)
▽太田梨恵(スボ行4)以上
(14年度大阪府学生バレーボ
ール選抜に出され中国遠征(親善
交流)▽奥田祥子(スボ行4)
(14年度関西学生ソフトボ
ール秋季1部リーグベストプレ
イ賞)▽和田有加(スボ行4)
(14年度関西学生ソフトボ
ール秋季1部リーグ最優秀打撃賞)
▽山元 瞳(人健4)(14年度
大阪府学生バレーボール選抜に
選出され中国遠征に参加。西日
本大学5学連選抜対抗戦に関西
学連代表として出場。14年度春
季・秋季1部リーグ最優秀選手
賞。全日本学生選抜東西対抗戦
に選出され出場)▽上村祐子(人
健4)(14年度大阪府学生バレー

ボ
ール選抜に選出され中国遠征
西日本大学5学連選抜対抗戦に
関西学連代表として出場。14年
度全日本学生選抜東西対抗戦に
選出され出場)▽加藤みのり(人
健4)(14年度大阪府学生バレー
ボール選抜に選出され中国遠征
西日本大学5学連選抜対抗戦に
関西学連代表として出場。14年
度春季1部リーグセッター賞)
大阪国際大学短期大学部
七蔵司綾子(国文1)(第38回
関西女子学生選手権水泳競技大
会2部100m平泳ぎ優勝)▽
松村 歩(国文2)(14年度関
西学生ソフトボール春季・秋季
1部リーグ最優秀投手賞)▽
佐々木アリス(幼教2)(14年
度関西学生ソフトボール秋季1
部リーグ盗塁賞)▽佐々木 梓
(家政2)(03年度21歳以下女
子ラクロス日本代表候補選手に
選出)

【枚方キャンパス】
中島正詞(法政経1)(第76回
関西学生選手権水泳競技大会3
部200m自由形優勝、10
0m自由形2位入賞)▽川瀬友
樹(法政経3)(第76回関西学
生選手権水泳競技大会3部10
0m背泳ぎ優勝、200m背泳3
位入賞)▽杉本勝安経(経3)(第
2回日米大学軟式野球国際大会
全日本選抜チームに選出され米
遠征に参加)
資格取得による表彰(敬称略)
大阪国際大学・大阪国際女子大
学 岡崎朱里▽西尾恵永▽林 理香
(タイ出身)



留学・研修レポート

韓国文化理解の研修に参加

短大家政科 生活文化コース1回生 船田 倫代

初の家政科主催韓国食文化研修に参加しました。研修先は大韓民国の釜山にある東州大学という短期大学です。その内容は、調理実習を中心に韓国の伝統料理を学び、キムチ学や韓国の食文化の授業もありました。学外研修では、お寺の見学を通して韓国の文化と歴史を学びました。そして、土曜日と日曜日はホームステイでの、大変充実した時間を過ごしました。

出発する前には言葉の違いやホームステイなど不安も沢山ありましたが、東州大学の学生達との学外研修などで、すぐに交流が深まりました。心配していた言葉も、東州大学の学生が日本語をとて熱心に勉強していて、日常会話には不自由がありませんでした。ホームステイでは、御家族の方が心からの歓迎をしてくれました。海雲台というとてもきれいな海水浴場に連れて行ってくれたり大型ショッピングセンタールネシティにも一緒に行きました。そして、チマ・チョゴリも着せてもらいました。

調理実習など全ての先生方が、とてもユニークでそのため楽しい授業でした。この研修に参加し、異文化に触れて、普段考えなかった事を思考し、又体験して、私達にとって掛け替えない経験となりました。韓国で過ごした有意義な十五日間を大切に今後の糧にしたいと思います。

(2003年3月10日~24日、家政科韓国食文化研修で東州大学他へ奥田政三基金により派遣)

経験積み 自分の会社作りたい

大阪国際大学大学院 経営情報学研究所 モーブラシット・スジャー

私は2002年4月に大阪国際大学経営情報学研究所に入学して、経営学を勉強しています。母国で文学部を卒業した私にとって、経営学は結構難しいです。

「なぜ経営を勉強しようと思ったのか」とよく聞かれますが、多分自営業の父を手伝ううちに少しずつ経営に興味をもっていたからです。

大学院は大学の授業と大きく違います。大学は先生が選んだテキストを使って読んでテストを受けて終わりますが、大学院の場合は自分で研究したり、さまざまな本を読んだりしなければなりません。今、私はセブンイレブンを通して、日本のコンビニエンスストアとタイのコンビニエンスストアについて研究しています。その理由は、現在、コンビニエンスストアは私たちの日常生活において欠くことのできない存在となっているからです。

しかし私の場合は、やはり日本語が一番の大きな問題です。全てのテキストは基本的に日本語で書かれているし、特に漢字が大変難しく、漢字がないタイ語を使う私は、他の人より二倍頑張らなければなりません。分からない時には先生や友達が教えてくれるので大変感謝しています。

大学院修了後、タイで仕事をしたいと考えています。自分の会社を作りたいという夢がありますが、経験はまだ足りないので、すぐできるわけではありません。まず国際貿易会社や日系企業などで働いて充分経験を積んで、チャンスがあれば、自分の会社を作りたいと考えています。

【幼稚園絵画表彰】(敬称略)
第62回全国教育美術展
(平成15年2月5日)
入選者II大南夏海▽杉谷拓己▽塚崎
純太(以上あやめ組)▽伊東展希▽
黒田風咲▽堀川由佳(以上ゆり組)
▽林 紗也子(すみれ組)▽濱田奈々
(ひまわり組)

第39回全大阪幼児少年美術展
(平成15年3月1日)
入選者II乾 由乃▽開田健太郎▽田
弘龍太郎(以上すみれ組)▽川原弘
暉▽佐藤昇平▽谷本 京▽永井幸宗
(以上あやめ組)▽増本 輝(ゆり組)
佳作者II岩本佳乃(ひまわり組)▽
赤楚浩基▽和田藍里(以上すみれ組)
努力賞II安達侑紀▽久保美翔▽寺西
聡美▽林 大介▽松本美優(以上ひ
まわり組)▽梶原 聖▽川崎悠平▽
本田七海(以上すみれ組)▽哇原研
史▽大石 竜▽喜多彩友美▽藤重諒
多(以上あやめ組)▽加賀尾 僚▽
近藤一輝▽山本 真(以上ゆり組)
学級部門 指導努力賞IIゆり組37名
指導者 澤竹 恵
個人賞入選作品は前期3月26日か
ら3月30日と後期4月2日から6日
に分けてユース・アート・ギャラ
リー(於:北区天満橋)にて展示さ
れた。

14年度 厳しかった就職状況

求人件数はかなり高い

企業の目シビア 真剣に挑戦を

平成14年度卒業生の就職活動をふりかえって
平成14年度卒業生の就職活動は、極めて厳しい状況となった。新聞紙上では大学生の就職状況は昨年度を若干上回ったとの記事もあるが、近畿圏については、厳しい雇用情勢を反映して新卒の就職状況は厳しい結果となっている。

就職活動は困難を極めたようである。就職状況が厳しい結果に終わったのは、数年前から続いている厳選採用の影響であろう。企業の採用論理は「優秀な人がいけば、採用する。そうでなければ無理はない」というものである。これに加えて、最近の景気の先行き不透明感が企業マインドを一層萎縮させているものと思える。しかし、すべて

の企業が採用をストップさせているわけではない。いかなる時代でも企業は、常に将来のために優秀な人材を確保しようとするものである。
変革を求められる時代にあつて、企業の学生を見る目は非常にシビアになっている。学生のみなさんには生半可な気持ちではなく真剣に将来のことを考え、就職活動に臨んでいただきたい。このことよって、自ずと道は開かれるはずである。

大阪国際大学 就職部課長 中山貴嗣

就職活動の土台 自己発見の努力を

何ができるか、壁を越えよう

就職活動の課題とされている「自分がしたいことを探す」ことが学生にとって難題であるのは今に始まったことではない。しかし、自分が何をしたいのか、また、何に向いているのかかわらない」という理由で就職活動しない学生が大勢いるのは、大

変気になるところである。因みに、進路・就職部で実施している中間進路状況調査(昨年11月)では、就職を希望しながら、就職活動しない理由として「自分が何をしたいのか、また、何に向いているのかかわらない」を挙げた学生が、大学・短大ともに前年比べて減少したものの数があまりに多い。

進路決定する場合、特に就職においては自分の希望や適性を考え悩むのは当然である。ただ、問題はそこからである。いつまで経っても「何をしたいのか、何に向いているのか」という壁の前で立ちすくみ、最初の一歩が出なければ就職活動は完結しない。一方、自己分析、職種研究、業界・業種研究の後、つまり、自分を見つめ直し、仕事や会社のことを調べた上での就職活動であれば、悩みの克服も可

能であるし、遅かれ早かれ、内定を獲得しているのは実績が示している。
我々も学生の悩みを「自分が何をしたいのか、何に向いているのかかわらない」と十把一絡げにしてしまっているが、学生にしてみれば、本当はしたいことが沢山ありすぎて決められないだけかもしれないし、また、自分にはできないと思っているのかも知れず、或いは反対されてできない、ということもあるだろう。同じように見えても、学生一人一人の壁の高さも厚さも違う。進路の多様性、就職活動に対する取り組みの変質は、学生に合わせたカウンセリングが必要になってきていることを示唆している。

大阪国際大学 就職部課長 定國通雄

就職奮戦アドバイス

説明会場で明確に質問、熱い思いは届くはず

積水化学工業



大阪国際大学 経営情報学部 経営情報学科 '03年卒 和田泰彰

私の就職活動は、大学3回生の12月頃からスタートしました。

まず、インターネットの就職サイトに登録し、知っている会社に手当たり次第にエントリーするところから始めました。当時は自分がどんな仕事をしたのか分からなかったが、全ての職種を見てやろうという思いでした。
そして、2月初めから少しずつ会社説明会の予定が入り始めました。最初の会社説明会では完全に緊張してしまい、最後まで

で周りの雰囲気は圧倒されっぱなしでした。それから私は緊張に打ち勝つ為、説明会では必ずみんなの前で質問するように努めました。その方が人事の人に顔を覚えられ有利に事が運ぶだろうと考えたからです。
2月半ばから3月初めになると、次第に面接が増え始め、月曜から金曜、朝から夕方まで、1日2社3社と会社訪問をしました。毎日朝から晩まで会社訪問をしても苦にならないことができたや、人と接することが好きな

自分に気づき営業職に限定して会社を探そうと決めました。
積水化学工業株式会社と出会った時には既に内定している会社があったのですが、説明会に参加してみても言葉にできない直感みたいなものがあり、受験を決意しました。私がこの会社を決めた理由は、自分のことを一番分かっていてくれた会社だったからです。
就職活動が進むにつれ面接も数多く経験し、面接慣れしてきました。その時に注意して欲しい

役に応じた面接訓練
自分の長所プラスを
コナミススポーツ株式会社
コナミススポーツ
クラブ光明池
'03年卒業
人間科学部
人間健康科学科
新井美晴

コンビニ店長、「経験」から学ぶ経営

ファミリーマートを開業して、この5月で丸5年が経過します。コンビニエンスストアの経営は、1つ100円・200円の商品を販売し、その積み重ねが利益となる商売です。利益を上げる為には、一日の来店客数を増やし、お客様一人当たりの単価を上げることが重要となります。

そのためには、自店の立地・客層・季節・流行などの環境を踏まえた上で、品揃え・サービス・店舗管理など、店作りをするために様々な決定を行っていかねばなりません。同じ名前をもつコンビニエンスストアでも、それぞれの店によって、内容は大きく変わってくるのです。

その決定を行う上で「情報」や「知識」も確かに重要なのですが、もっとも重要なものの1つとして「経験」をあげます。

学生からすぐに経営者になった自分にとって、はじめての客商売は、マニュアルだけで対応しきれものではなく、最初はなにをするにも試行錯誤の連続でした。しかし自分自身で考え、行動して、その結果を積み上げることによって、「経験」は確実に自分のものとなります。また「経験」は、仕事を行っていく上での「自信」へとつながるものになります。

学ぶべきことはまだまだ多くありますが、これからがんばっていききたいと思います。



大阪国際大学経営情報学部経営情報学科 '01年卒
ファミリーマート 東三国三丁目店 店長 今中 高俊

OB・OGレポート

座右の銘は「行雲流水」

テストと言えば「一夜漬け」...これといった目標もなく「行ける所が進路」とばかりに、あまり焦らず悩まず過ごしてきた私。今春4回生の学生は今、就職活動の真最中?苦悩の連続で焦燥していることと思います。超氷河期と言われた頃、私もマイペースで活動していましたが、この時ほど「自分は何をしたいのか」を考えたことはありませんでした。

様々な業種の会社説明会に参加したものの、明確には何がしたいのかわかりませんでした。しかし「生きていく上で役に立つ知識を取得できる仕事」をしたいと考えようになりました。最終的に不動産業か金融業のどちらにするかを迷いましたが、これまでの3年間を振り返れば今の不動産会社を選んで良かったと思います。

TV(毎日放送「せやねん」)に出演して、吉本興業のかつみ・さゆり夫妻と会話したり...工事現場でクレーンのゴンドラに乗せてもらって35m(マンション10F相当)の景観を眺めたり...作業用エレベーターで建設中のマンション屋上へ行ったり...と、あまり経験できないことを体験できるのは楽しいことです。

今までに得た知識や経験は、かけがえのない財産となって私の笑顔や自信を形成しているはず。もちろん辛苦も多々...「宅地建物取引主任者資格」の取得は避けては通れない関門で、さすがに「一夜漬け」ではクリアできず、しんどい思いもしました。しかしどんなことでも、きつと今の私のように思い返せる日が来るものだと思います。楽しんで生きましょう!



大阪国際女子大学人間科学部人間健康科学科 '00年卒
阪急不動産営業推進部マンション販売担当
「シオ緑地公園」OB・OG「積水化学工業」マンショングラッパリー所長
長野 友華

大阪国際学園 CALENDAR

大阪国際大学 (枚方キャンパス)

- 7.18 前期終講
- 7.22 補講(～28)
- 7.26 オープンキャンパス(8.20、9.23)
- 7.29 前期試験(～8.6)
- 9.3 追・再試験(～5)
- 9.8 集中講義(～19)
- 9.22 後期開講
- 10.11 大学祭(～12)

大阪国際大学 大阪国際女子大学 大阪国際大学短期大学部 (守口キャンパス)

- 7.18 前期終講
- 7.21 オープンキャンパス(8.7、23、9.7)
- 7.22 補講(～28)
- 7.29 前期試験(～8.6)
- 9.3 追・再試験(～5)
- 9.8 集中講義(～19)
- 9.22 後期開講
- 10.25 大学祭(～26)

大阪国際滝井高等学校

- 6.10 中間考査(～13)
- 6.24 保護者会(～27)
- 7.5 コーラス大会
- 7.10 修学旅行(オーストラリア)(～16)
- 7.11 修学旅行(カナダ)(～8.1)(北海道)(～16)
- 7.16 期末考査(～17)
- 7.19 授業終了式
- 8.25 授業再開
- 9.16 期末考査(～20)
- 9.30 終業式
- 10.3 指名保護者会(～4)
- 10.4 オープンキャンパス
- 10.8 始業式
- 10.19 入試説明会(11.23)
- 10.25 文化祭(～26)
- 10.30 体育大会
- 11.5 プレ中間考査(～6)
- 11.14 遠足(1・2年)
- 一泊英語研修(～15)(2年国際科)
- 11.15 オープンキャンパス

大阪国際大和田高等学校 大阪国際大和田中学校

- 6.2 教育実習(～13)(高校)
- 6.5 人権研修(11.6)(高校)
- 6.7 体育祭
- 6.18 保護者会(～21)(高校)
- 授業参観(中学)
- 6.26 人権研修(中学)
- 7.1 期末考査(～5)(高校2年国際、教養)
- 7.8 期末考査(～14)(高校1年、2年英数、3年)
- 期末考査(～10)(中学)
- 7.10 修学旅行(高校2年国際、教養)
- 7.14 林間(～15)(中学1、2年)
- 7.16 夏期講習開始(高校)
- 7.17 宿泊研修(～19)(高校1年教養)
- 7.22 家庭訪問(中学)
- 7.31 終業式
- 8.19 学外講習(～22)(高校3年)
- 8.21 学習合宿(～23)(高校1年、中学3年)
- 8.26 始業式
- 8.29 芸術鑑賞
- 9.21 文化祭(中学)
- 9.22 コーラス大会(高校)
- 9.28 文化祭(高校)
- 9.30 実力テスト(中学)
- 10.2 合同集会
- 10.4 オープンスクール(高校)
- 10.10 授業参観(中学)
- 10.11 オープンスクール(中学)
- 10.22 中間考査(～25)(高校)
- 10.23 中間考査(～25)(中学)
- 10.29 避難訓練
- 11.1 入試説明会(中学)
- 11.7 遠足(中学)
- 11.8 入試説明会(高校)
- 11.13 保護者会(～17)(高校)
- 保護者会(～15)(中学)
- 11.23 入試説明会(中学・高校)

大阪国際大和田幼稚園

- 5.30 避難訓練
- 6.6 親子遠足
- 6.21 音楽発表会
- 6.24 水遊び開始
- 7.14 個人懇談会(～16)
- 7.19 終業式
- 7.22 夏期保育(～24)
- 8.26 夏期保育(～28)
- 9.1 始業式、入園願書配布
- 9.18 入園説明会
- 9.20 避難訓練
- 10.1 入園受付
- 10.11 運動会
- 10.24 いもほり(園外)
- 11.17 幼稚園交流
- 11.30 作品展

自分らしく話せば気持ちが伝わるのだと実感しました。
私は就職活動をしていくにつれて、今まで気づくことのなかった自分に出会うことができました。これは私が社会に出ていくうえで強みにし、活かしていけるものだと思います。私にとって就職活動は苦しい辛いことだけではなく、新しい自分を発見することができるよいものであったと思います。

2367名が入学宣誓式に

全国各地から春のたよりが届くなか、学園設置の各校で入学(宣誓)式が次々と行われた。今年度は合わせて2367名が入学し、学園に新しい息吹を吹き込んだ。新入生たちはそれぞれ難関を突破した喜びと新たな希望に満ちあふれた面持ちで式に臨んだ。

「大きな志をもって」金子学長

国際大枚方キャンパスでは4月3日、野外ステージで恒例の米国カレッジ式典スタイルの青空入学宣誓式を行った。迎えた新入生は経営情報学部330名、同学部編入生4名、法政経学部256名、大学院経営情報学修士課程13名、同博士課程1名、総合社会科学部修士課程6名、留学生別科92名の計702名、金子学長は式辞で「大いに学び、遊び、大きな志を持った大きな夢を見つけて欲しい。そのために広く日本と世界の動きを学んで下さい」と語り、入学生代表宣誓は経営情報学部部長池尾幸祐さん、法政経学部部長長谷川悠自さんが行った。式後、新入生には学友会主催の歓迎会、保護者には懇談会を実施した。



「希望を胸に」
大和田中・高校は4月7日奥田モリアルホールで行われ、中学は国際コース28名、英数コース33名(うち男子11名)の計61名、高校は国際コース11名、英数コース93名(うち男子15名)の計202名が入学した。奥田三郎校長は教員は皆さんに「表現力」「考える力」「共に生きる力」など自立のための基礎教育を徹底指導するので希望を持ってぶつかってほしい。希望の進路に進み、多くの友人と共に満足して卒業を迎えられることを願っています」とエールを送った。新入生宣誓は高校は男子2期生となる渡邊亮太さん、中学は松波 茜さんが行った。

「主体性を自覚して」奥田短大部学長

幼児教育科192名(保育コース131名、音楽コース29名、体育コース32名)、国際文化学科183名(国際ビジネスコース22名、情報ビジネスコース57名、英語コミュニケーションコース41名)、観光ビジネスコース63名(計517)を迎えた。奥田吾朗短大部学長は「主体性をもち、与えられたこと以上に何かを作り出せるような人間になって欲しい。その舞台としてこの大学生活を活用して下さい」と挨拶。新入生を代表し、短大部の代表として奥田三郎学長が挨拶した。同キャンパスではこれまでのスライド仕様にかわり、学園紹介ビデオ「探し物はなんですか?」に入学時をはじめ保護者懇談会が実施されたが悪悪天候にも関わらず、多くの参加者にもみまわれた。

「個性豊かな花を」

滝井高校は4月8日体育館で行われ、吹奏楽部の歓迎演奏をうけながら迎えられた。新入生148名(普通科132名、国際科16名)が晴れて入学した。今年度より就任した奥田



吾朗校長より「校長としてはじめの挨拶で皆さんとともに緊張していただきます。自分という美しい花をこれから咲かせて下さい。3年後の卒業式で個性豊かな花となっていることを願います」とスラブの「世界でひとつだけの花」のフレーズを用いて激励。新入生を代表して橋本宏美さんが「今日の感激を忘れずこれからの大学生活をすこやかに過ごしたいと思っております」と誓った。

フレッシュマンキャンプ、学外オリエン大成果



国際大枚方キャンパスの恒例・新入生フレッシュマンキャンプが4月11日から12日まで行われた。経営情報学部は滋賀県長浜市で1泊2日、また法政経学部は兵庫県淡路島へ1泊2日、両学部ともに「スポーツ大会」や「世界のクイズ」など内容はゼミ対抗のものとなっており、相互の親睦を深めた。また、担当の教員を中心にこれからの大学生活について語りあがもたれ、天候には恵まれなかったが所期の目的を果たし多岐な成果を上げ得た。

「長春真人西遊記」記録と景観合致、磁器片や土城跡も

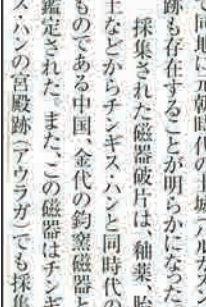
松田孝二国際大教授が合同調査隊
松田孝二国際大教授を代表とする日本モンゴル歴史・考古調査隊(白石典之・新潟大学助教授、村岡 倫・龍谷大学助教授、松川 節・大谷大文学部助教授)は、モンゴル科学アカデミー歴史研究所前所長A. オチル氏との合同調査で、これまで場所を特定できなかったチンギス・ハン時代の兵站基地、チンカイ・バルガスンを発見した。本学での合同記者会見でこれを発表。マスコミの関心を呼んで各紙に掲載され、大きな話題となった。



チンカイ・バルガスンとは、チンギス・ハン(1162-1227)の時代に、チンカイ・バルガスン(現在のモンゴル国)に建設された兵站基地である。この基地は、チンギス・ハンが西遊する際に重要な拠点となっていたと推定されている。調査隊は、この基地の発見を通じて、チンギス・ハン時代の歴史をさらに深く理解する機会を得たと述べている。

04年度大学・短大PRモデル撮影開始

04年度大学・短大PRモデル撮影開始
緑あふれるキャンパス内で、PRモデル撮影が行われている。学生たちは笑顔でカメラに向かってポーズをとっている。この撮影は、大学の魅力を広く伝えるための取り組みの一環として行われている。



04年度大学・短大PRモデル撮影開始
緑あふれるキャンパス内で、PRモデル撮影が行われている。学生たちは笑顔でカメラに向かってポーズをとっている。この撮影は、大学の魅力を広く伝えるための取り組みの一環として行われている。

第2京阪道路完成(3/30)で本学(枚方キャンパス)へのアクセス向上

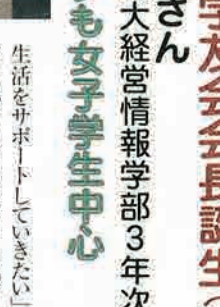


大阪・京都間の交通渋滞緩和のための計画された国道1号のバイパス第2京阪道路(愛称「緑立つ道」)の一部が、この3月末開通した。開通区間は4.6車線に短縮される見込み。第2京阪道路開通とほぼ同時に、の自動車専用道路と307号のバイパスとして、2.4車線の枚方藤阪線と枚方東部線が開通(3月24日)した。これらによって、本学への車によるアクセスは二段階と便利になった。

枚方市内の同道路へのアクセス向上
専用道路と307号のバイパスとして、2.4車線の枚方藤阪線と枚方東部線が開通(3月24日)した。これらによって、本学への車によるアクセスは二段階と便利になった。

ひと 初の女性学友会会長誕生(枚方)

三峰裕紀さん(国際大経営情報学部3年次生)
スタッフも女子学生中心
生活をサポートしていきたい」と抱負を語り、三峰さん。「でも、中学、高校と学級委員はやってきたことばかり。でも、男子のお手伝い。議長なんてやったことないし、まわりに突っ込まれれば、早く言い返せるようになりたい」と笑う。「楽しそうなことなんでもやってみよう。学友会は、会社の練習ばい。自分たちで予算を振り分けて、会議をしたりものを作ったり。いっぱい失敗して成長する場だと思えます」と物おじしない。エフエムひらかたの国際大深夜番組のDJとしてもお馴染み。周囲からは「天然」と太鼓判を押される。シャベリも「最近では相づちだけじゃなく、自分から話題をふれるようになってきたんですよ」と自分自身の「成長」を楽しんでいる。



営業中

本紙に記載の学年、所属等はすべて当時のものです。ご了承ください。住所等の変更、本紙に関するご意見・感想等は広報室までご連絡下さい。電子メールもご利用下さい。